

令和元年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

語学・大学留学コース 3月レポート

土屋 菜月

こんにちは。この度、新型コロナウイルスの影響で3月26日に日本に帰国することになりました。本来の帰国予定日は5月2日だったのですが約1ヶ月早い帰国になってしまいました。予測していなかった事態だったのでまだ自分でもあまり自覚がありません。3月13日から大学はオンライン授業に移行しており、日本でもオンラインで授業を継続して受けています。アメリカのコロナウイルスに対する予防の姿勢はとても厳しく、オハイオ州では、州の命令でバーや人が多く集まるようなところは閉まり、レストランもテイクアウトのみだったり、ソーシャルディスタンスをとったりするなど、徹底していました。一方私が帰国する頃の日本は、何事も感じさせないくらい皆が外出してしていました。多くの人が友達と観光やお出かけをしている姿を見て、危機感の違いに正直驚きました。3月26日から日本政府がアメリカから日本に入国する人々に対して自宅待機要請をし、空港から自宅まで公共交通機関の使用を禁止していました。私の場合、実家が埼玉県で親が空港まで車で迎えに来てくれたので問題はありませんでした。しかし地元が北海道の友人は事前に予約していた国内線に乗ることができず、ホテルに2週間自費で滞在するお金もなく、とても苦労していま

した。早くこの事態が治まることを願うばかりです。

フィンドレーとはこのようなお別れのかたちになってしまいましたが、この約7ヶ月間の留学は本当に素晴らしいものでした。大学のスタッフの方々はとても親切で、私たち留学生が少しでも楽しめるようにいつも色々な行事を企画してくださいました。さらに、語学力の向上と世界各国からの友達を作るという留学の目標も達成することができ大変満足しています。このような素敵な機会を与えてくださった埼玉県庁国際課の皆さん、フィンドレー大学の川村先生には感謝してもしきれません。いつか恩返しをしたいです。有り難うございました！

